



館内は白色を基調としていて落ち着いた雰囲気です。書架と書架の間も以前よりだいぶ広がっています。館内の随所に椅子が置かれていて、読みたい本などを手にしてゆったり読書することができます。場所によって、天窓から日の光が入ってきてとても居心地が良いと感じました。建物部分は入口を入ると「図書館」と「ワークショップゾーン」に分かれます。図書館部分は「一般開架」と「じどう開架」に大きく二つに分かれます。今回は主に「じどう開架」を取材してきました。お忙しい中、館長の土本さんに案内をしていただきました。子どもを持つママの視点から色々と話を伺いました。(磯)

新 図書館OPEN!! (前編)

10月1日に新しい図書館がオープンしました。新しい図書館は子育て世代にうれしい工夫がいっぱいです。前編・後編の2回に分けて、紹介していきます。

⑤フレイルーム

床材は少し柔らかい材質のものを使用しているため、多少転んでも大丈夫だそうです。ここに置いてあるおもちゃは全て木製で、やはり木祖村の木材で作られているそうです。ベビーベッドもあります。

⑥授乳室

鍵がかける個室では、椅子やオムツ換え用の台もあります。その他に水道もついていますが、火傷や衛生上の問題もあり、お湯は出ません。ミルク用のお湯がほしい場合は事務所までおっしゃってくださいとのこと。なお、オムツ換えの台は他のトイレ、男トイレ・女トイレにもあります。

①おはなしのへや

ここは、旧図書館に比べて広さが約2倍。温かい日差しが入る場所に位置し、床材は日進市の姉妹都市、木祖村(長野県)の「ひのき」を使用しているそうです。シンプルな造りの部屋なので、用途が色々と広がりそうな印象を受けました。

②おしゃべりコーナー

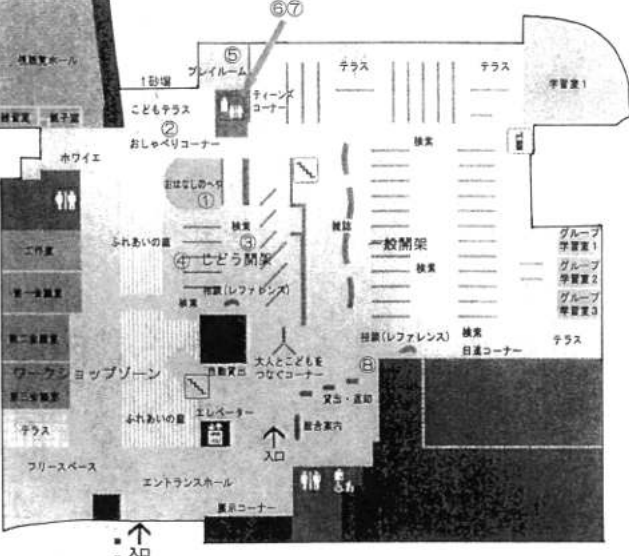
おはなし会や本を借りに来た時などにお友達や知り合いの方に会ったとき、ここでちょっとおしゃべりしたい気分ですか? 中庭(子どもテラス)に砂場がありますから、子どもを遊ばせつつ、談笑・・・なんてことも可能です。

③書架

小さい子ども自分で絵本を選んで、手にすることができるように3~4段になっています。私の子ども(2歳半)ぐらいの背なら、一番上の段にも手が届きます。書架の側板には、これまた木祖村の「ひのき」が使用されていて、木のぬくもりたっぷりです。これも書架と書架の間や通路が広く取られているので、ベビーカーで訪れても十分通ることができます。

④読書用のテーブル、椅子

「ふれあいの庭」と名づけられた中庭に面した場所には子どもたちが座って読書をしたり、おしゃべりができるような背の低いテーブル、椅子が6セットほど置かれています。この椅子は幅が少し広がっています。その理由を館長さんにお聞きすると、「親子で、お友達同士で一つの椅子に座って読書ができるように」と思い、このような椅子にしました。本を通して、ここで親子、友達とのふれあいを大切にしたいと思っています。」とのことでした。子ども用の低いテーブル、椅子は他の場所にもあり、全部で13セットほどありました。



《1階平面図》



◆◆ DATA ◆◆

- 【開館日】 火曜日~金曜日 午前9時30分~午後8時
土曜・日曜・祝日 午前9時30分~午後5時
玄関ホール 午前9時~ ※会議室等は月曜日も利用できます。
- 【休館日】 毎週月曜日(祝日除く)・年末年始(12月29日~1月3日)・毎月第一木曜日・特別整理期間 ※例外もありますので、ご注意ください。
- 【対象】 (市内利用者) 市内に在住・在学する人
(市外利用者) 名古屋市・豊田市・瀬戸市・尾張旭市・豊明市・長久手町・東郷町・三好町に住居を有する人
- 【住所】 日進市蟹甲町中島3番地 [TEL] 0561-73-4123
- 【HP】 <http://lib.city.nishin.lg.jp/>

はぐみんカード 使ってみよう!

正式名称は「子育て家庭優待事業」。愛知県と日進市の協働事業で、日進市商工会の協力により日進市児童課が行う事業です。詳細は、児童課へ問合せ。またはふあまっぷ9月号をみてね。
※児童課子育て支援係 TEL: 0561-73-1049 / FAX: 0561-72-4554

●市役所より● お店の善意と協力によるもので、気持ちよくカードを利用しましょう。

●人形どころ みやび●

特典: 店内買い物 全品5%OFF (クリーニングも含む)

★住所: 北新町段ヶ池中664-1 ★TEL: 0561-72-4626 ★定休日: 年中無休
★駐車場: 6台 ★営業時間: 8:30~19:00 ★URL: <http://www.ninryo.co.jp/>

『人形どころ みやび』では、11月より羽子板、破篋弓、雛人形が店頭並びます。初正月を迎える赤ちゃんの健やかな成長を願って、羽子板、破篋弓を飾るという風習があるのをご存知ですか? 羽子板でつく羽の玉は「むくろし」という大木の種ですが、これを漢字で「無患子」と書きます。子どもの無病息災を願うものなんです。ぜひ一度、歴史に触れるつもりで、気軽に覗いてみてはいかがでしょうか。また、『みやび』では季節によって日本人形、鯉のぼりを扱うほか、クリーニング、花火の取り扱いもあります。店長さんおすすめホームページもありますので、アクセスしてみてください。(紺)

子育てサークル紹介

にっしん子育て総合支援センターに登録されているサークルを順次紹介していきます。

第1回 「あおむし」

あいさつと保育士の先生3人による歌遊びの後、すぐお隣の神社へみんなでどんぐり拾いに行きました。落ち葉をひっくり返したり、どんぐり以外にも松ぼっくりやセミの抜け殻を見つけて盛り上がり。拾ったどんぐりやセミの殻は次の工作に使うそうです。保育士の先生はいつも同じ方で、ちょっとした「プレ幼稚園」のようなかんじです。「気分はずのんびり自然体で活動しています」との言葉どおり、とても自由な雰囲気でした。クリスマス会などイベントもたくさんあります。まずは見学から、気軽に参加してみてください。(野田)

①日の流れ
あいさつ→体操・手遊び→外遊びなど→紙芝居など→おにぎり・おやつ→お帰りの歌
☆おにぎりとおやつは当番制。お弁当の持ち込みもOKです。

- 対象 0歳~就園前までの子どもとお母さん
- 日時 月2回・金曜日(10:00~13:30)
- 場所 南部福祉会館
- 活動費 月1000円(月会費500円+参加費1回 250円×2) 兄弟割引(おやつ不要の場合、月会費・参加費ともに無料)あり
- お問い合わせ 0561-75-2244 (にっしん子育て総合支援センター)
- 見学は250円(要予約)
- 来年1月と2月に次年度入会希望の方向けに見学会を行います。詳細は広報にっしんにて告知予定です。



秋のオススメ えほん 紹介

香山美子 作 柿本幸造 絵
「どうぞのいす」(対象年齢:4歳~)
(株)ひさかたチャイルド 1981年

うさぎさんが、小さな木の下に作りかた、かわいいうさぎさんです。うさぎさんは大きな木の下にすを置くと、「どうぞのいす」という立て札をさしました。うさぎさんが行ってしまおうと、ろばさんがかごいっぱいのおもちゃを持ってきてくれました。ろばさんは親切な気持ちで、かごをいすに置くと、大きな木にもたれておぼろけしてしまいました。すると、今度はろばさんがやって来ました。どんぐりをみつけるやいなや「どうぞ」なら...と、みんな食べさせてしまいます。ろばさんは何も知らずにくらくらおぼろけしています。くまさんは、どんぐりのかわりにハチミツの瓶をかごに入れて行ってしまいました。さて、そのハチミツを見つけるのは一体誰だったのでしょうか。ほのぼのとした結末がほわほわと笑いを誘います。この韻末をみている青い小鳥の軽やかに目を向けると、別の楽しみ方ができる絵本です。(高野)